



亀中だより

No.9

令和6年5月17日 文責 岡田

For The Students!

もっと好きになれる！亀山市の未来について考える ～亀山市中学生議会に向けて出前授業～

都道府県や市町村は、一般的に地方公共団体あるいは地方自治体と呼ばれています。その地域の住民が、その地域の行政を自分たちの手で処理していくことを「地方自治」というわけですが、簡単にいえば、その地域住民の意思を決定する機関として市議会が設置されています。つまり市議会や市議会議員は、市民の代表として、それぞれの要望や意見を市の行政に反映させていく役割を果たしているわけです。

亀山市議会では、これからの亀山市を背負っていく中学生のみなさんに、そうした地方行政や市議会の仕組みや役割などを生徒のみなさんに知ってほしいとの願いから、今回の授業、そして今夏8月には実際の議場を使っての中学生議会の開催を計画していただいています。5月9日（木）には、3年生の全クラスにおいて、福沢美由紀議員、新秀隆議員、今岡翔平議員、森英之議員、櫻木善仁議員の5名を講師にお迎えし、出前授業を開催していただきました。亀山市の概要、亀山市の仕事、市議会の仕事、市議会議員の仕事などを教えていただき、これからの亀山市を考えるきっかけをいただきました。みんなが思う亀山市の未来はどんな姿でしょうか。やがて亀山市を背負っていくであろう、みなさんが、快適で住みやすい“まちづくり”を行っていくためには、市民も自ら考え、自分たちが声を上げたり、実行していくことも必要です。今回の学びを大切に、明日の亀山市を考えていってください。



なお、8月の中学生議会には、亀山中学校3年生からも中学生議員として参加することができます。ぜひ参加してみたいという生徒のみなさんの応募を待っています。（詳細は学年の先生から）

1年生校外学習 ～人権学習・ボッチャ体験・学年レク～

5月10日、1年生の校外学習を行いました。人権学習として事務補助員の小林さんから、障がいと向き合ってきたご自身のこれまでの人生をお伺いし、障がいがある中でも強く生きる姿と我々が社会の中でどのようなかかわりが必要かを考える機会をいただきました。また西野公園体育館では、三重県障がい者スポーツ支援センターの方を講師に迎え、パラリンピック正式種目でもあるボッチャを体験。また、午後には学年のレクリエーションとして、〇×クイズや学年ダンス、そして体育祭種目の大縄跳びを行いました。

中学生となって一か月。学級や班の協力体制ができつつある姿を見ることができました。生徒の使用した西野公園体育館のトイレでは、何の指導のないにもかかわらず、整然と並べられたスリッパがあり、生徒の日常にこうしたマナーが育っていることを感じ、とてもうれしい気持ちになりました。

